

まちづくりを考える日



あめいろ

— 高校生の演劇プロジェクト —

会長 農口 雛子
事務局 竹本 莉乃

事業のきっかけ

コロナ禍により
学校生活が自粛や中止続きに。

今しかない学生生活を
素直に楽しむことができず
寂しい思いをしている子供達が
たくさんいる。





当時松江北高3年
農口

高校生を中心とする若い世代の人が
地元で楽しむことができる
イベントをしたい！



松江北・南・工業・商業
安来・情報科学の6校12名

『なぜ、東出雲町上意東が
干し柿の里となったのか』
そのルーツを探り演劇公演をしよう！

事業の内容

高校生自ら「取材」「脚本」「演出」に 取り組み舞台制作



<取材>

干し柿農家さん
地元の歴史に詳しい方



<脚本>

取材をもとに
脚本制作



<演出>

互いに意見を出し
合いながら決定

成果

会場

東出雲おちらと村

来場者数

第一部・第二部

合計132名

←チラシデザインは
松江市地域おこし協力隊OB



演劇

地元高校生達が取材・脚本・舞台制作に挑戦しました！



ヨシヒコの 宿題

～上意東の柿のルーツ探ってみた～

松江市東出雲町在住、
中学2年生のヨシヒコ達は、
「地域の魅力発表会」をすることに。
おじいちゃんが、地域の特産品
「西条柿」農家であることをきっかけに、
ヨシヒコ達は上意東の西条柿について
調べることに決めた。
なぜ、柿がこの地へ来たのか…
小さな田舎から、どうして
全国に広まっていったのか…
そして「飴色の宝石」の秘密…
おじいちゃんから、次々と明かされる
上意東の柿のルーツを、
ヨシヒコ達と一緒に紐解きます。

同時開催

6/26(日)～7/10(日)
上意東の写真展&まる畑ほし柿ができるまでの資料展示会
(おちらと村館内)

柿が苦手な人でも食べられる!? 柿ソフトクリーム販売!

2022.7.2(土)

松江市東出雲おちらと村
(上意東研修センター体育館)

成果 上意東や干し柿への理解度

演劇鑑賞の前後でアンケートを実施し、
理解度50%以上を目標とした

上意東の干し柿のルーツ

観賞前

58.4%

観賞後

84.2%



「飴色の宝石」理解者

観賞前

49.1%

観賞後

90.7%



成果 来場者の感想

「柿の歴史をよく調べ、表現されており、
高校生達の頑張りがよく伝わりました。
うちもまる畑ほし柿の生産農家なので、
これを見てもますます継承していこうと思いました！」

公演後...

上演した演劇はDVDに収録

東出雲中学校や東出雲公民館など
希望される団体などに提供して、東出雲の干し柿への
理解を広げるきっかけ作りをしました。

協力いただいた方

会場受付

東出雲中学校

ボランティア部の生徒13名

連携した団体

NPO法人かみいとう 畑ほし柿生産組合

劇団あしぶえ

裏方KADOYA

東出雲公民館



持続可能な事業とするために

困っていること

①会場選び

使用料が安価でかつ地域にゆかりのある広い会場を選択するが、
エアコンが無いことが多いため暑さ対策に苦慮した。

対策：来場者にうちわと保冷剤を配布し、
熱中症対策を呼びかけ

持続可能な事業とするために

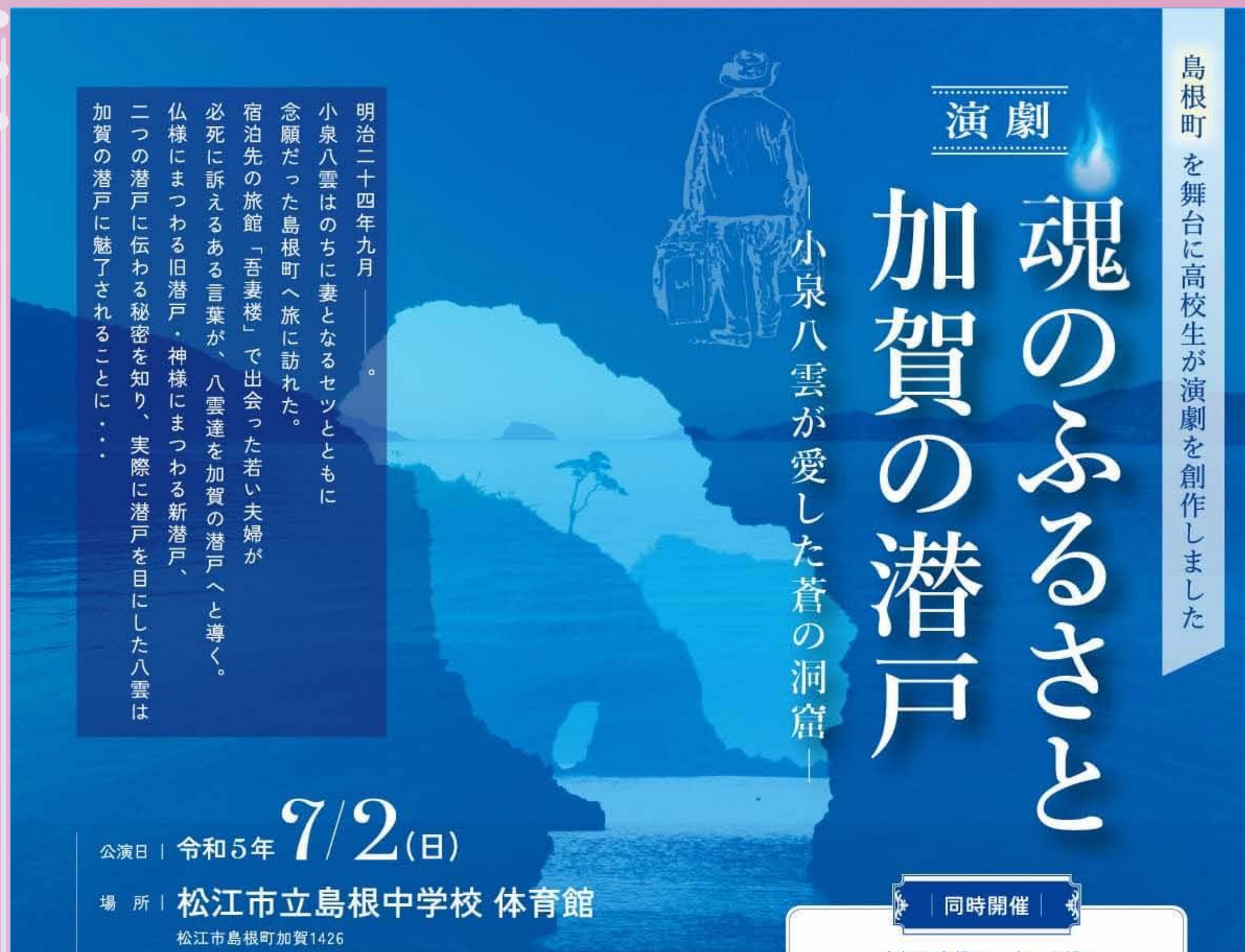
困っていること

②交通費

構成員の交通費は補助金の対象外になるため、
移動にかかる費用は自己負担となった。

対策：取り組みに賛同いただいた青少年育成協議会から
寄付をいただき高校生に対しては支払が出来た。

今年度の取り組み



島根町を舞台に高校生が演劇を創作しました

演劇

魂のふるさと
加賀の潜戸

小泉八雲が愛した蒼の洞窟

明治二十四年九月
小泉八雲はのちに妻となるセツとともに
念願だった島根町へ旅に訪れた。
宿泊先の旅館「吾妻楼」で出会った若い夫婦が
必死に訴えるある言葉が、八雲達を加賀の潜戸へと導く。
仏様にまつわる旧潜戸・神様にまつわる新潜戸、
二つの潜戸に伝わる秘密を知り、実際に潜戸を目にした八雲は
加賀の潜戸に魅了されることに・・・

公演日 | 令和5年 **7/2**(日)

場 所 | 松江市立島根中学校 体育館
松江市島根町加賀1426

同時開催

島根町「加賀の潜戸」

×

小泉八雲

in 島根中学校

7月2日(日)に公演
約200名の方に
ご来場いただきました！

